

「幼稚園・保育園・こども園におけるICT化の現況について」

社会のいたるところで『ICT (Information Communication Technology) 化』が急速に広がっています。

幼稚園・保育園・こども園業界においても、平成 28 年度に厚労省より『「保育所等における業務効率化推進事業」のための補助金の交付を皮切りに、文科省からも『教育支援体制整備事業費交付金』が交付されるなど、国・自治体をあげて教育・保育の現場へのICT導入支援が活性化しています。

その結果、『園児管理』や『指導計画・日誌管理等の業務支援』・『登降園管理』・『保護者との連絡ツール』といった ICT システムが導入されました。

ICT 化の促進により、従来手書きでの書類作成を主軸としていた、職員の業務作業を軽減し、『現場の担い手不足の解消』が図られています。

しかしながら、制度導入後の各施設における活用実績は、当初の想定通りには上がっていません。厚労省によると、『保育業務支援システム機能において ICT を利用している施設数の割合』は約半数の 54.4%にとどまっています。

下記の表にも示されているように、実際に活用実績のある施設においては、大幅な作業時間軽減の成功実績が報告されております。

職員1人当たりの1ヵ月間の書類作成時間のICTの導入有無による差異（単位：時間）

月・期指導計画			連絡帳			クラスだより		
	ICT化導入有	ICT化導入無		ICT化導入有	ICT化導入無		ICT化導入有	ICT化導入無
平均値	2.1	2.5	平均値	3.5	6.1	平均値	1.7	1.8
最大値	20	42	最大値	14.2	33	最大値	3.5	10

※令和元年度 保育士の業務の負担軽減に関する調査研究 事業報告書（厚生労働省）より抜粋

にもかかわらず、なぜ利用施設の増加は進まないのでしょうか？
利用が進まない施設においては下記のような事由があげられております。

『導入はしたもの、うまく使いこなせない』
『システム導入は進んだが、パソコンの導入台数が少なく、各職員へ割り当てられる時間が少ない』

という理由により、利活用に辿り着かないという話を多く耳にします。
ではどうすれば、利活用がすすむのでしょうか？
導入したシステムを活用するために、以下の取り組みを実施することが考えられます。

- サポートシステムの活用（電話・オンラインを使用した導入・活用支援）
- 職員相互研修機会の増加（得意な職員から苦手な職員へ）
- パソコン・タブレットの導入台数の増加
- 活用がすすんでいる施設への施設見学や研修の実施

これらの取り組みを実施し、ICT化の促進を図ることにより、職員の作業軽減を実現できます。
その結果、教育・保育の質を高めることや、職員確保の成功事例へとつながっていくでしょう。
『選ばれる園になるため』にぜひ、『園のICT化』への積極的な取組みを検討してはいかがでしょうか？